

1 日本医療研究開発機構 (AMED) の ミッションと展望

末松 誠

日本医療研究開発機構 理事長

平成27年4月より日本医療研究開発機構が発足した。医療分野の研究開発における基礎から実用化までの一貫した研究開発の推進・成果の円滑な実用化及び医療分野の研究開発のための環境の整備を総合的かつ効率的に行うため、健康・医療戦略推進本部が作成する医療分野研究開発推進計画に基づき、医療分野の研究開発及びその環境整備の実施、助成等の業務を行うことがその目的である。文部科学省、厚生労働省、経済産業省の医学・医療の研究費を一括管理し、創薬や医療機器の実用化プロセスの加速・推進をミッションとして担うことになる。健康・医療戦略では(1)医療分野の研究開発、(2)新産業の創出、(3)医療の国際展開、(4)医療のICT化、が掲げられているが、新機構は「基礎研究と臨床研究の連携を深めるためのPDCAサイクルの構築」、「医療のR&D速度の最大化」、「再生医療などの世界先端医療の実現」、「公正な研究を行う仕組みの整備」などを基本方針として掲げている。これにより、生命を延ばすとともに生活や人生の質の向上をも含めた成果をいち早く人々に届けられる医療研究開発の実現を目指す。

一方で予算や研究リソースには限りがあり、そのなかで患者に届ける研究開発成果の最大化、最速化を実現するためには、新たに何かを作らないと何も変わらないという発想ではなく、いかにして既存の仕組みやリソース、技術基盤を徹底的に利活用しつつ効率的に研究を進めるか、そのマインドセットと体制の整備が重要である。そのために新機構では、研究費の機能的運用の実施やゲノム医療の実現に向け既存のバイオバンク等を最大限活用するための研究プラットフォームの構築等、幅広い取り組みを進めている。講演では新機構のミッションと展望について論じるとともに、これからのがん医療の確立や実用化、創薬にかかる新たな取り組みについて概説したい。